2021年5月改訂

市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4（避難情報）で必ず避難しましょう。
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう。

避難情報等（警戒レベル）

警戒レベル	状　況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難〉			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
	浸水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	——
1相当	——	——

市区町村長は、**河川や雨の情報（警戒レベル相当情報）**のほか、
地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に**避難情報等（警戒レベル）**の発令判断をすることから、
警戒レベルと**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

緊急連絡先を記載しておきましょう

※大きな災害が起きると、電話や電気が使えなくなる可能性がありますので注意が必要です。

最寄の市町村役場 TEL	TEL
最寄の消防署・消防団 TEL	TEL
町内会 TEL	TEL
都道府県土木事務所 TEL	TEL

地域の指定避難場所や家族で話合った避難場所を記載しておきましょう

発行:特定非営利活動法人土砂災害防止広報センター　〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲4番11号　TEL.03-5614-1114（代表）FAX.03-5614-1109

雨が降ったら

地震のあとは土砂災害に注意

地震によって地下の深いところまで
地盤がゆるんでいます。
これからの雨や雪どけ水によって、
土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり等）が
引き起こされる危険があります。

大地震のあとに、こんなに土砂災害が
例えば阪神・淡路大震災のあと、
このようなことがありました。

地震後の降雨で崩壊が発生

阪神・淡路大震災で大きく揺さぶられた六甲山地では、700ヶ所以上で山腹が崩れる等の土砂災害が発生しました。そして、地震後の雨等で、崩壊地の数は2000ヶ所以上に増加しました。特に、神戸市灘区の鶴甲地区では、六甲山の南斜面標高250～400m付近で地震直後に崩壊が発生し、その後の余震や降雨で崩壊が拡大しました。

震災前

震災直後の鶴甲地区

震災後の7月の豪雨で
新たな山腹崩壊が発生

資料提供:国土交通省砂防部

土砂災害ってなに？

大雨などが引き金となって、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることで起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となって起こる土砂災害もあります。また、大きな地震のあとは、地盤が崩れやすくなっているため、少しの雨や余震でも土砂災害が起きやすくなります。

■ がけ崩れ（斜面崩壊）

急な斜面が崩れる

- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大量の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- くずれた高さの２倍くらいのところまで土砂がおそってくることもある。

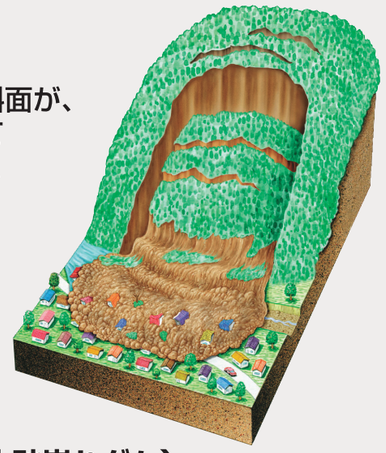
■ 土石流

山から崩れた土や石が、
水といっしょになって、
ものすごい勢いで流れ下ってくる

- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の時期は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水で発生することもある。

■ 地すべり

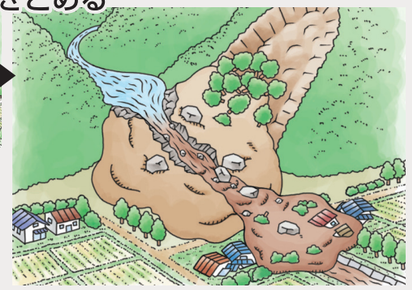
やや傾斜のゆるい斜面が、
広い範囲にわたって
かたまりのまま動く



- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畑といっしょに大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。

■ 河道閉塞（土砂崩れダム）

崩れた土砂が川をせきとめる



- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 土砂ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 土砂ダムはやがて、たまった水の力で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。

こんな変化に注意

土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

がけ崩れの前ぶれ

① がけから小石がパラパラ落ちてくる。
② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
③ 斜面から水がわき出る。
④ 斜面にひび割れができる。

避難所への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

土石流の前ぶれ

① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。
　→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
② 川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる。
　→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
③ 山鳴りがする、異常なにおいがする、地鳴りがする。
　→上流で山が崩れているため。
④ 雨がふり続いているのに川や沢の水が減る。
　→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがろう。

地すべりの前ぶれ

① 池の水がにごったり、減ったりする。
② 山の樹木がザワザワとさわぐ。木の裂ける音や木の根が切れる音がする。
③ 地鳴りや山鳴りがする。
④ わき水がふえる。
⑤ 地面にひび割れや段差ができる

⚠ ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

近所にこういう看板はないですか？

このような看板が立っているところは、土砂災害の危険が大きい場所です。特に注意しましょう。

- 「土石流危険渓流」の看板 →土石流の危険がある川や沢
- 「急傾斜危険区域」の看板 →がけ崩れの危険がある急斜面
- 「地すべり防止区域」の看板 →地すべりが起きやすい区域